

# 電子ポット商品群開発で学ぶ プロダクトライン戦略



**SESSAME**

組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会



EEBOF (Embedded Engineer's Birds Of a Feather)

酒井 由夫



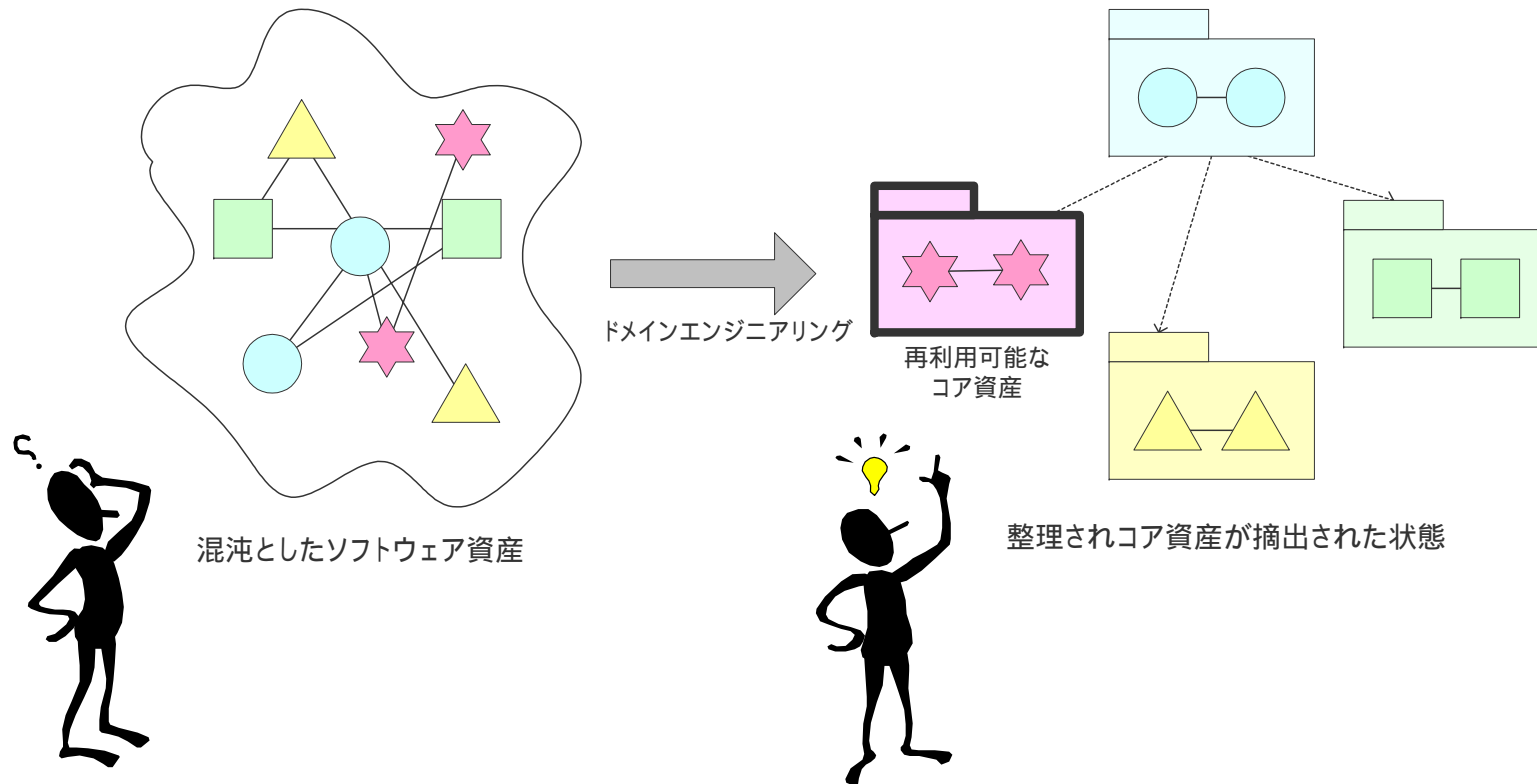
Product  
Process  
People



Software Product Line

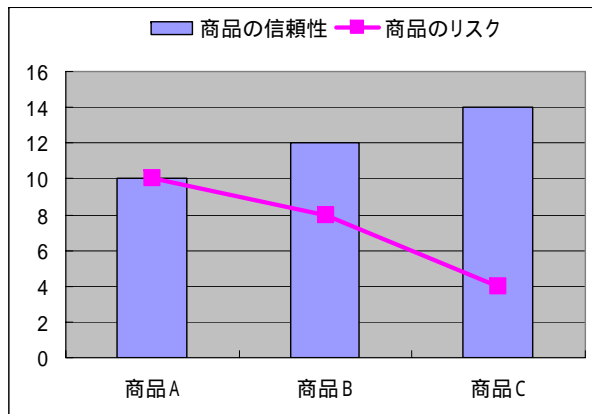
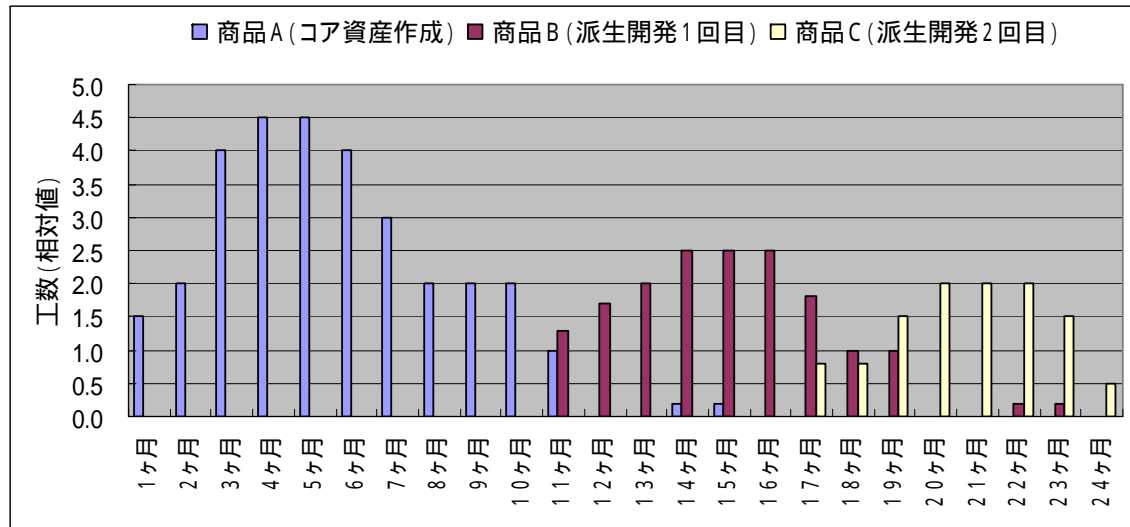
# 既存のソフトウェア資産をドメインに分類する

- 既存のソフトウェア資産をドメインという入れ物に分類することがドメインエンジニアリングのはじめの一歩となります



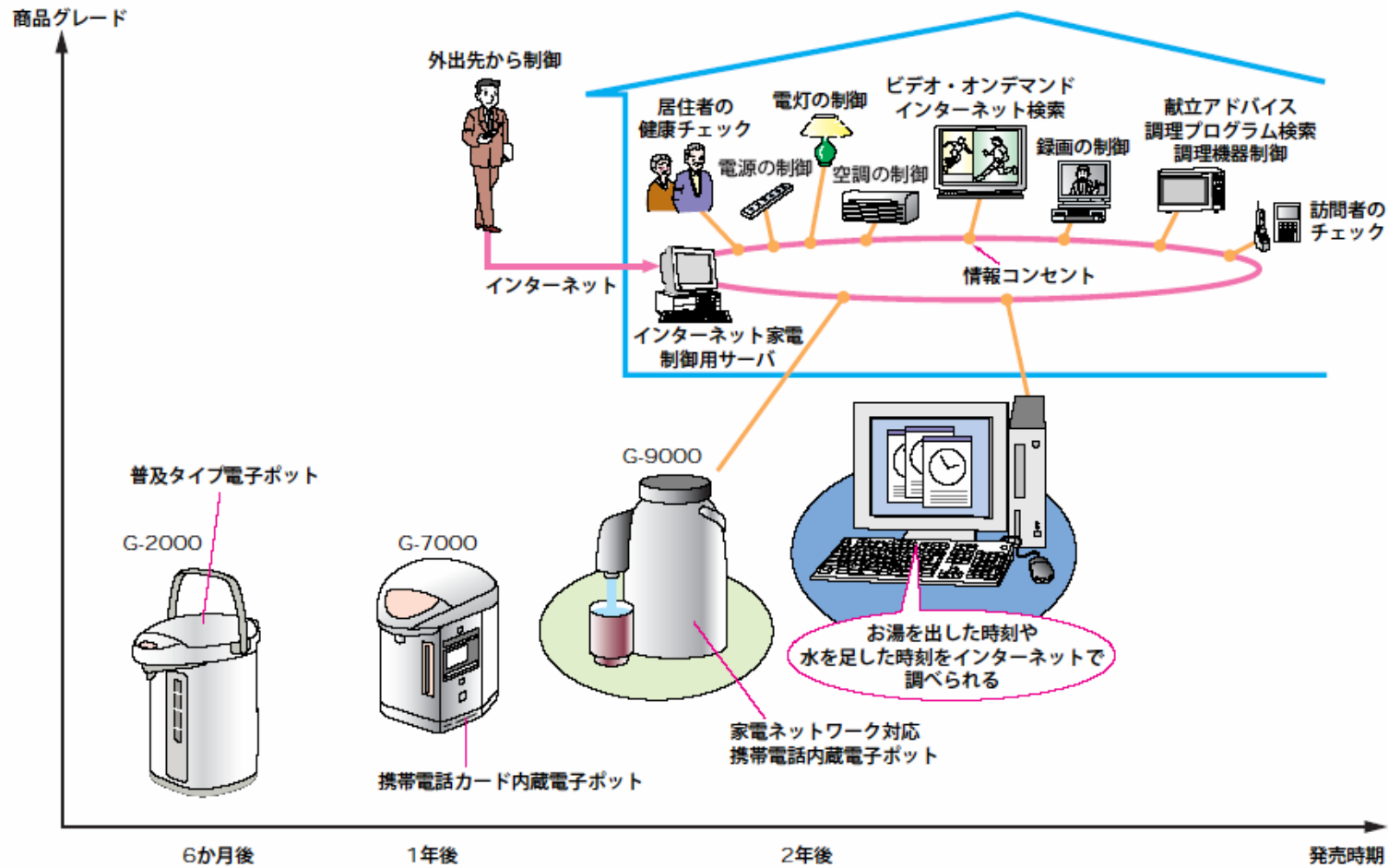
# プロダクトライン適用の効果

- 最初の開発ではコア資産を作るために通常の開発より約1.5倍の工数がかかります
- しかし、2回目、3回目の派生開発で、開発工数が減り、開発期間も短縮されていきます
- **プロダクトラインは最初のコア資産開発を乗り切れるかどうか**がキーポイントとなります



- **プロダクトラインを適用すると...**
  - 商品の信頼性は上がり
  - リスクは減少していきます
- **コア資産には市場に特化した商品群の特長が凝縮されているため、コア資産にリスク分析の結果を蓄積していけば、コア資産の開発にかけた工数以上の「信頼性という価値」が生まれます**

# 電子ポット商品群のロードマップ



# 普及タイプ電子ポットのドメイン構造図

